

## アーツカウンシル東京 令和2(2020)年度事業ラインアップ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京では、世界中から東京に注目が集まる2020年を絶好の機会と捉え、斬新で独創的なプログラム等の展開を通じて、芸術文化都市東京の魅力を最大限発信していきます。

### ■2020年の文化プログラムの充実

オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の文化プログラムを「Tokyo Tokyo FESTIVAL」として、多彩に展開しています。オリンピックイヤーとなる2020年度は、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」、「東京キャラバン」、「TURN」、「トパコ」、「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成」といった「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を牽引する事業を、これまで以上に大規模かつ多角的に展開し、より多くの都民が文化プログラムに参加できる機会を作り出していくとともに、芸術文化都市東京の魅力を国内外により一層発信していきます。

### ■4月から6月に多くの事業実施

Tokyo Tokyo FESTIVALは、2020年の春から夏に大きな山場を迎えるよう設定されており、アーツカウンシル東京でもこの時期多くの事業を開催します。「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」をはじめ、2015年より日本全国を回って多種多様なアーティストと“文化混流”してきた「東京キャラバン」、一夜限りのアートの饗宴として毎年多くの来場者が訪れる「六本木アートナイト」、まちなかで伝統文化・芸能の魅力を気軽に体験できる「伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2020～」や「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2020」等、都内各所で様々なジャンル、アプローチによる文化プログラムを展開していきます。

事業の詳細は、別添の事業一覧をご覧ください。

1. 2020年の文化プログラムの展開
2. 芸術文化支援事業<助成・活動支援>
3. 芸術文化創造・発信事業<参加・体験プログラム>
4. 人材育成事業
5. 国際ネットワーク事業・企画戦略事業

#### ●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020年の東京を文化の面から盛り上げるプログラムを「Tokyo Tokyo FESTIVAL」として展開しています。

<http://www.artscouncil-tokyo.jp>

※これらの情報は2020年1月28日現在のものであり、内容は変更になる場合があります。

※これらの事業は東京都令和2年度予算が東京都議会で可決された場合及び、公益財団法人東京都歴史文化財団令和2年度予算が財団理事会で可決され、同評議員会が承認した場合に確定します。

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：糸園、圓城 聖  
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

1

2020 年の文化プログラムの展開

オリンピック・パラリンピックが開催される 2020 年の文化プログラムとして Tokyo Tokyo FESTIVAL を展開しています。Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13、東京キャラバン、TURN、Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成といった文化プログラムを牽引する事業を通じて、より多くの都民が文化プログラムに参加できる機会をつくり出していくとともに、芸術文化都市東京の魅力を国内外により一層発信していきます。

○Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として、東京都との共催で実施します。

国内外から応募のあった 2,436 件から選定した 13 の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」と総称し、2019 年からオリンピック・パラリンピックに向けて、順次展開しています。

【実施場所】 都内

【開催時期】 2019 年 9 月～2020 年 9 月 ※既に終了したプログラムもあります。

事業名	実施場所	開催時期(予定)
The Constant Gardeners	上野恩賜公園	夏
日本の禅庭園に見られる日本文化・美術の歴史を、世界的な視野で再構成し、ロボット工学を活用して表現。アスリートの動作を取り込んだロボットアームの動きにより、刻々と変化する日本庭園を創り上げます。上野公園を舞台として、ロボット工学と日本の庭園文化、そしてスポーツを融合させたインスタレーションを展開します。		
隅田川怒涛	隅田川流域各所	「春」4月13日(月)～19日(日) 「夏」8月17日(月)～23日(日)
隅田川をひとつの舞台と見立てる音楽&アートフェスティバル。和田永、コムアイ、蓮沼執太ほか日本を代表するアーティストが、音楽、パフォーマンス、インスタレーション等を「春」と「夏」の 2 回にわたって展開します。200 年前の江戸期の華やぎを想い、この地の永い歴史に尊敬の念を込め、芸術表現活動を通じて人々が怒涛のように混ざり合っていく姿を描くプロジェクトです。		
世界無形文化遺産フェスティバル 2020	日比谷公園大音楽堂・小音楽堂 ほか	4月18日(土)・19日(日)
世界から無形文化遺産が集結するフェスティバル。世界各地に伝承されている伝統文化や芸能を集め、人々の交流を通じて文化の多様性と共生の意義を伝え、文化の未来への継承につなげます。世界五大陸から 6 か国(インドネシア、エストニア、エチオピア、トンガ、ブータン、ホンジュラス)の伝統芸能を招聘するほか、東北の芸能を岩手県、宮城県、福島県から招聘し、東北の復興を祈るとともに無形文化遺産の価値を発信します。		
DANCE TRUCK TOKYO	東京都区部・多摩地域・島しょ	2019 年 9 月 5 日(木) ～2020 年 8 月頃
輸送トラックの荷台を使用するモバイルの「DANCE TRUCK」を、東京都区部・多摩地域・島しょの様々な場所 15 か所で展開します。多分野の先鋭的なアーティストが多数参加。トラックの極小空間を身体/光/音で一体となる装置に変容させ、周りの環境とも呼応するパフォーマンスで見慣れた都市の風景を一変させます。		

事業名	実施場所	開催時期(予定)
TOKYO SENTO Festival 2020	都内銭湯約 550 か所	5 月 26 日(火)～9 月 6 日(日)
伝統的な人々の憩いの場・コミュニティーである日本独自の“銭湯文化”を世界に発信し、2020 年を多くの人々とともに盛り上げるアートプロジェクト。漫画家やグラフィックアーティストなど、日本を代表する多様なアーティストが参加し、「ホッとするアートな銭湯！」と身も心も熱くなる参加型イベントです。日本の伝統文化「銭湯」から世界に向けて、アツアツの日本文化の発信と、心温まる人々の交流を作り出します。		
TOKYO REAL UNDERGROUND	都内	4 月～6 月頃
東京の地下空間を舞台に繰り広げられる、実験的芸術のフェスティバル。東京という巨大都市の歴史的な時間と空間を「アンダーグラウンド」というキーワードで探索し、多様で意外性のあるプログラムを展開します。戦後の日本に生まれ、世界に広まった舞踏/Butoh を中心に、それに影響された様々な表現を、現代の地下空間で再生します。		
パビリオン・トウキョウ 2020	都内	6 月 6 日(土)～9 月 13 日(日)
世界各地で活躍する日本人の建築家とアーティストが、独自のパビリオンを設計し、国内外からの観光客や住民に未来の建築やアートとして紹介します。パビリオンは新国立競技場を中心とする半径約 3 km 圏内を中心に設置され、期間中見学ができます。地図を片手に宝探しのように、あるいは散歩のかたわらに巡ることができます。		
光の速さ -The Speed of Light-	都内	5 月～6 月頃
アルゼンチン出身の演劇/映像作家マルコ・カナレによる演劇プロジェクト。東京をリサーチし、そこに暮らす高齢者へインタビューを行い、彼らの記憶や体験を基にした物語や東京という土地に紐づく歴史に焦点を当てます。高齢者が実際に出演するツアー型の演劇作品を中心に、短編動画とドキュメンタリー映像によって補完しながら、東京という都市を様々な角度から見つめ、その先の未来をも想像させる作品を制作します。		
放課後ダイバーシティ・ダンス	港区、国立市、日の出町ほか	2019 年 9 月～2020 年 8 月
都内 3 つの地域と連携し、舞踊を通じた新たな地域文化のプラットフォームを創出するプロジェクト。年齢や性別、国籍や体の違いを超えた多文化共生型のダンスを子供たちと創作します。尾上菊之丞氏をはじめ、菅原小春氏や砂連尾理氏など一線で活躍するプロダンサーや舞踊家、地域内で様々なダンスに関わる人などによるワークショップを通じて、子供たち自身が振付を行うことで、「創る」楽しさを伝えます。		
まさゆめ	都内	夏
現代アートチーム 目 [mé]による、世界中から募集した候補から選ばれた「顔」を東京の空に浮かべるアートプロジェクト。2019 年 3～6 月に行った「顔募集」では世界中から 1,400 名以上のエントリーがあり、6 月に行われた選定のための参加型公開ミーティング「顔会議」にはライブ配信も含めて延べ 3,400 名が参加・閲覧しました。選ばれた「顔」を立体物として造形し、2020 年夏の東京の空に掲揚します。		
漫画「もしも東京」展	東京都現代美術館	夏
現在の日本を代表する漫画家たちが、“もしもの東京”をテーマに、今までにないそれぞれの「東京」を描く展覧会。		
Light and Sound Installation “Coded Field”	浄土宗大本山増上寺、港区立芝公園、東京都立芝公園	2019 年 11 月 16 日(土) ※実施終了
増上寺の建築データや地形データを、プログラミング(コード)を用いて解析し、光と音に変換するための情報を埋め込んだ場(フィールド)を仮想空間に生成。それらの目に見えない情報を、ライゾマティクスが独自に開発したバルーンデバイスを用いることで、現実空間において光や音に変換し、大勢の参加者が広範囲な場所で同時に楽しめる体験型インスタレーションです。またそれらの光と音に合わせて、コンテンポラリーダンスのパフォーマンスも披露されました。2020 年度は、2019 年に実施した状況を公開します。		

事業名	実施場所	開催時期(予定)
シークレット企画	都内	後日発表
後日発表予定。		

### ○東京キャラバン

劇作家・演出家・役者である野田秀樹氏の発案により、多種多様なアーティストが出会い、“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた文化ムーブメントです。2015年の東京・駒沢に始まり、リオデジャネイロ、東北（仙台・相馬）、六本木、京都（亀岡・二条城）、八王子、熊本、豊田、高知、秋田、いわき、埼玉、富山、岡山、北海道でそれぞれのジャンルを超えたパフォーマンスを展開してきました。2020年は、第一線で活躍するアーティストや新しい才能と若きパワー溢れる表現者たちを迎え、リーディングプロジェクトとして始動してから6年間の結実となるパフォーマンスを新たに創作、披露します。

【実施場所】代々木公園

【開催時期】5月23日（土）・24日（日）

### ○TURN

監修にアーティストの日比野克彦氏を迎え、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトです。アーティストと、福祉施設や社会的支援を必要とする人々が時間を重ねて交流し共働活動する「TURN 交流プログラム」と、TURNの活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURN ミーティング」と「TURN フェス」の開催によって広くその意義を発信します。2020年は、リーディングプロジェクトとして始動してから6年間の集大成と未来への幕開けとなる大規模な「TURN フェス」を国内外のアーティストや多様な施設、機関と協働しながら複数会場で開催します。

【実施場所】都内各所、東京都美術館、東京藝術大学 ほか

【開催時期】通年(TURN フェスは夏季開催)

### ○トパコ（都民パフォーマーズコーナー）

民間企業のビル等の場を開放して、都民の芸術文化活動の発表機会を創出する事業です。様々な人が文化プログラムへ参画すること、また従来の枠組みや場所にとらわれない文化プログラムの展開に繋げていくことを目的としています。会場提供企業等も含め、より多くの人の文化プログラムへの興味を喚起することも目指します。

【実施場所】都内

【開催時期】春～9月

## ○Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成

東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえ、2020 年により多くの人々が文化プログラムに参加できるよう助成事業を実施しています。企画内容により、以下の4つのカテゴリーで採択を行います。

【実施場所】 都内

【採択事業実施期間】 2020 年 9 月 6 日まで

カテゴリー名	概要
フラッグプロジェクト支援	民間企業や芸術団体など様々なセクターによる話題性・祝祭性のある規模の大きいプロジェクトや、2020 年以降につながるレガシーを創出するプロジェクトを支援します。
市民創造文化活動支援	都民の日常的かつ主体的な芸術文化活動を支援します。
海外発文化プロジェクト支援	海外からのアーティスト等の新たな芸術創造につながる活動を支援し、東京が国際的な創造活動拠点として魅力ある都市となるとともに、都民が多様な芸術表現に触れる機会を提供します。
未来提案型プロジェクト支援	アートとサイエンスの融合により、新しい表現の創造にチャレンジするプロジェクトを支援します。

※本助成事業は 2016 年度より実施してきましたが、2020 年度で終了となります。なお、公募の申請期間は終了しています。

東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動や、地域の文化の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援します。

事業名	概要
① 東京芸術文化創造発信助成 〈単年助成プログラム(年2回公募)、長期助成プログラム〉	<p>東京の都市の魅力向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体や芸術家等に対して活動経費の一部を助成します。</p> <p>【単年助成プログラム】では、都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、都内または海外で実施される国際的な芸術交流活動、また芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動を支援します。</p> <p>【長期助成プログラム】では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップの後押しを目的に、2年間または3年間の支援を行います。また、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対しても助成します。</p>
② 東京地域芸術文化助成 (年3回公募)	<p>東京を拠点とする芸術団体、保存会、継承団体等を対象とし、都内の無形民俗文化財を活用した地域の文化振興に資する公演活動等や、特定の地域における文化資源を活用し、地域の魅力を国内外に発信する活動を支援します。</p>
③ 芸術文化による社会支援助成 (年2回公募)	<p>東京を拠点とする芸術団体や福祉団体、NPO等を対象とし、様々な社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市の様々な課題に取り組む活動を助成します。社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人に開かれた芸術のあり方を推進する先駆的な活動を支援します。</p>

【実施場所】 都内または海外

【対象期間】

① 東京芸術文化創造発信助成

単年助成プログラム

第1期：2020年7月1日～2021年6月30日

第2期：2021年1月1日～2021年12月31日

長期助成プログラム

2020年4月1日～2022年6月30日（2年間の場合）

2020年4月1日～2023年6月30日（3年間の場合）

② 東京地域芸術文化助成

2020年4月1日～2021年3月31日

③ 芸術文化による社会支援助成

第1期：2020年7月1日～2021年6月30日

第2期：2021年1月1日～2021年12月31日

芸術文化団体やアート NPO 等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇等の幅広い分野におけるフェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。また、文化の面でのレガシーを 2020 年以降に継承し、文化の魅力であふれる都市東京の実現を目指します。

### ○フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇、舞踊等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や子供・青少年、外国人向けの参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

#### 【フェスティバル】

事業名	実施場所	開催時期(予定)
神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2020	神楽坂エリア	5月9日(土)・10日(日)
伝統と現代が融合する神楽坂エリアの毘沙門天善國寺や赤城神社、神楽坂通り、石畳の路地などを舞台に、粋でスタイリッシュな伝統芸能ライブを開催します。また、芸者衆とのお座敷遊び体験、スタンプラリーなど、外国の方や若い世代の方も、誰もが気軽に楽しく日本の伝統文化・芸能、そして“まち”と出逢える2日間です。		
国立劇場共催公演事業	国立劇場 大劇場	5月23日(土)・24日(日)
		8月1日(土)・2日(日)
現代的な要素を取り入れた新しい視点からの伝統芸能公演を実施し、日本の伝統文化・芸能の魅力を広く発信します。		
伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル 2020～	JR 八王子駅北口付近(西放射線ユーロード、三崎町公園、中町公園、横山町公園)、いちょうホール	5月30日(土)・31日(日)
八王子市をはじめ、多摩地域の文化資源を活用して伝統文化・芸能の魅力を発信するフェスティバルを開催します。伝統文化・芸能に馴染みのない人々も気軽に親しめるよう、屋外ステージ公演や体験コーナーなど多彩なプログラムを実施します。		
大江戸寄席と花街のおどり その十	東京都内会場	6月の1日間
江戸の町人文化の隆盛の中で花開いた寄席芸と、花柳界に伝わる芸能を一度に楽しめるエンターテインメント公演です。第一部では、落語を中心とした寄席芸の数々を、第二部では、東京の六つの花街(新橋・赤坂・浅草・神楽坂・芳町・向島)の芸者衆のおどりと演奏、そして翳間芸をお届けします。江戸情緒を現代の東京に息づかせる伝統芸能公演をお楽しみください。		
伝統芸能普及公演	東京都内会場	8月の1日間
日本の伝統文化・芸能の魅力を広く発信し、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない方々に、本格的な伝統芸能をわかりやすく見せる公演を実施します。		

事業名	実施場所	開催時期(予定)
伝統文化・ 芸能	東京大茶会 2020	江戸東京たてももの園 9月～10月の2日間
		浜離宮恩賜庭園 10月の2日間
	都内の野外博物館と庭園において、様々な茶道の流派が一堂に会する大規模な茶会を催し、お茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を、国内外へ発信します。本格的な茶席や野点、初心者向けの茶道教室、英語で解説をする席に加え、日本文化を楽しめる催しやパフォーマンスなど、茶道に馴染みのない方や外国の方なども気軽に楽しめる茶会です。	
第21回多摩川流域郷土芸能フェスティバル	狛江エコルマホール	12月6日(日)
多摩川流域の地域文化の交流を通して、郷土芸能の活性化・地域文化の振興を図るため、多摩川流域で育まれた郷土芸能を9団体が披露する公演を実施します。		
音楽	アンサンブルズ東京	東京タワー 8月29日(土)
	音楽家・大友良英氏のディレクションの下、参加した全ての人たちがそれぞれの立場やあり方を超えて自分たちの手で音楽の場を作り上げます。地域の新たな魅力を発見するとともに、東京の独自性や多様性を追求しながら芸術文化の力を広く発信することを目指した参加型の音楽フェスティバルを、東京を象徴する場の一つである東京タワーで開催します。	
	プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～	多摩地域・島しょ地域の各所 通年
	多摩地域・島しょ地域にて、オーケストラ公演やアンサンブル公演を実施します。子供から大人までクラシック音楽を身近に楽しめるよう、参加・体験型の企画を実施します。	
	Music Program TOKYO	東京文化会館 ほか 通年
世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信します。		
美術・ 映像・ アートプロジェクト	六本木アートナイト 2020	六本木エリア 5月30日(土)・31日(日)
	様々な文化施設や商業施設が集積する六本木の街を舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案するとともに、大都市東京におけるまちづくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する一夜限りのアートの饗宴。非日常的な体験を創出する、多様なプログラムを展開します。	
	MOT サテライト 2020	東京都現代美術館、清澄白河エリア 夏～秋
東京都現代美術館を「街を体験するための視点を提示する、街のサテライト」と捉え、街や都市について考えるための作品の展示とあわせて、これまでの MOT サテライトのプロセスや成果の展示も行い、観覧者に街歩きをするための視点を提示します。		

事業名	実施場所	開催時期(予定)	
美術・映像・アートプロジェクト	第13回恵比寿映像祭	東京都写真美術館、恵比寿エリア ほか 2021年2月	
	映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現を過去から現在、そして未来へと継承し、様々なジャンルとの対話を促す「恵比寿映像祭」。第13回となる本展は、展示、上映、トーク・セッションなどを複合的に行います。また、国内外の美術館、関係機関、近隣との連携を深めながら、映像表現、視覚芸術の多様性を恵比寿・東京都写真美術館から発信します。		
	上野「文化の杜」新構想	上野エリア	通年
	日本有数の芸術文化機関の連携、芸術文化資産の発信などを通じ、東京の芸術文化拠点としての上野の魅力国内外へ発信します。アーツカウンシル東京と上野文化の杜新構想実行委員会が共催し、文化資源の宝庫である上野の潜在能力を発展させるため、多様なプログラムを実施していきます。		
演劇・舞踊	東京芸術祭 2020 特別公演 ファンタスティック・サイト	東京都庭園美術館・芝庭 八王子駅周辺 5月29日(金)～31日(日) 5月30日(土)、31日(日)	
	東京には「江戸」から「東京」へ、発展していった境目が垣間見える場所があります。国の重要文化財でもある東京都庭園美術館と、江戸から明治にかけて織物の一大産業地であった八王子のまちなか。それぞれ東京の歴史を感じられる場所=サイトにおいて、パフォーミング・アーツのジャンルの一つとして世界的に評価された日本発信の身体表現「舞踏(暗黒舞踏)」や舞踏の流れを汲むダンサーによるパフォーマンスを上演します。		
	東京芸術祭 2020	東京芸術劇場等池袋地区の劇場中心	9月～11月
	東京芸術祭は、豊島区池袋エリアを中心に展開する国際舞台芸術祭です。演出家宮城聰総合ディレクターのもと7人の部門ディレクターが協働する体制をとり、個性豊かな演目を揃えています。また、本年度は令和元年に実施したワールドコンペティションの受賞作を上演します。		
	Shibuya StreetDance Week 2020	代々木公園、渋谷エリア	11月1日(日)
	ストリートダンサーの聖地と言われる渋谷から、ストリートダンスの魅力や本質的な価値を様々な形で発信し、子供から大人まで幅広い層の方々が参加できるストリートダンスの祭典を開催します。		
	芸術セレクション	東京芸術劇場	通年
海外で活躍する演出家を起用した公演や野田秀樹芸術監督の作品などの舞台芸術作品を上演し、様々なプログラムを展開します。			

### 【子供向け参加・体験型プログラム】

事業名	実施場所	開催時期(予定)
TACT FESTIVAL	東京芸術劇場	5月初旬
ゴールデンウィークに、海外からの招聘公演を含め子供から大人まで幅の広い世代に楽しんでもいただける多様なプログラムをフェスティバル形式で行います。		
子供のための伝統文化・芸能体験事業	都内の小・中・高等学校、特別支援学校 ほか	6月～2021年2月
子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値を正しく理解するとともに、多様な文化に対する理解を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験事業を学校教育と連携して実施します。		

事業名	実施場所	開催時期(予定)
キッズ伝統芸能体験	芸能花伝舎、梅若能楽学院 会館、宝生能楽堂、国立劇場 ほか	9月～2021年3月
<p>伝統芸能の一流の実演家が数か月にわたり子供たちを直接指導し、最後にその成果を本格的な舞台で発表します。伝統芸能の「お稽古」という形を通して、日本人が古くから大切にしてきた心や感性、礼儀作法などの文化環境を学ぶ機会を提供し、伝統芸能を次世代へ継承すると同時に、東京の文化的魅力を向上させることを目的として実施する事業です。中・高校生のみを対象としたユースプログラムも展開します。</p>		
パフォーマンスキッズ・トーキョー	都内の文化施設、小・中学校、特別支援学校 ほか	通年
<p>ダンスや演劇、音楽などのプロのアーティストを、学校やホール等に10日間程度派遣し、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品を作り上げ、最終日に発表公演を行います。アーティストが子供の発想を活かしつつ作品を創作する過程で、子供たちの創造性や自主性を育み、コミュニケーション能力を高めます。</p>		
Museum Start あいうえの	東京都美術館、上野公園の文化施設	通年
<p>ミュージアム、大学、行政、市民が手を携えて、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業です。上野公園に集まる9つの文化教育施設が連携し、子供たちの「ミュージアム・デビュー」を応援するとともに、子供と大人が学びあえるアクティブ・ラーニングの環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」を、東京都美術館と東京藝術大学が推進役となって実施します。</p>		

### 【外国人向け参加・体験型プログラム】

事業名	実施場所	開催時期(予定)
外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム	東京都庭園美術館・庭園(屋外)	10月9日(金)・10日(土)
<p>外国の方々に向けて日本の伝統芸能をわかりやすく鑑賞できる公演を開催するとともに、公演の内容や伝統芸能の理解をより深めることができるよう、芸能体験をセットで実施するなど、日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信することを目的に実施します。</p>		
外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム	東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター ほか	通年
<p>東京が誇る日本の伝統文化を国内外に発信するため、外国の方々から日本の伝統文化・芸能を、短時間で気軽に体験できるプログラムを観光拠点等において実施します。</p>		

## ○文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担う NPO とアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取組です。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となる NPO 育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。（通年実施）

事業名	実施場所	共催団体
TERATOTERA	JR 高円寺駅-国分寺駅 エリア	一般社団法人 Ongoing
古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇る JR 中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野・多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するプログラムを展開します。テラッコ（ボランティア）の人材育成に注力し、プログラムの企画・運営の実践を通じ、アーティストとともにアートプロジェクトをプロデュースできる人材を育てます。		
小金井アートフル・アクション！	小金井市	特定非営利活動法人アートフル・アクション、小金井市
小金井市をフィールドに、市民がアートと出合うことで、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくることを目的とするプロジェクト。芸術文化によるまちづくりの検討や市民が事業に関わる場づくりを実施します。		
アートアクセスあだち 音まち千住の縁	足立区	東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区
足立区千住地域を中心に、アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）のつながりを生み出すことを目指す、市民参加型のアートプロジェクトです。市民とアーティストが協働して、「音」をテーマとした多様なプログラムや拠点形成などを展開します。		
HAPPY TURN／神津島	神津島村	特定非営利活動法人神津島盛り上げ隊
約 1900 人が暮らす伊豆諸島のひとつ神津島において、島と関わる人々の島へのシビックプライドを醸成することを目指すアートプロジェクト。島民に加えて、島を離れて暮らす人、島外から移り住む人、一時的に滞在する人など、様々な立場の人々を対象に、島の歴史や生活文化などの地域資源について学び合う機会を生み出すことで、島内外の幅広い世代が島と関わるための場づくりや仕組みについて考えていきます。		
500 年の common を考えるプロジェクト「YATO」	町田市忠生地域	社会福祉法人東香会
町田市でユニークな保育事業を展開する団体が、保育園や寺院等を取り巻く里山一帯を舞台に、土地の歴史や性質を踏まえながら、今後 500 年続く場と人のつながりの設計を準備するプロジェクトです。専門家や他の団体と連携しながら、子供と大人が共に取り組めるようなプログラムを展開します。		
ファンタジア！ファンタジア！ —生き方がかたちになったまち—	墨田区	一般社団法人うれしい予感
多くのアトリエやオルタナティブ・スペースが集まる東京都墨田区北部（墨東エリア）において、点在する文化拠点との連携やアートの思考を通じて、「学びの場」を形成するプロジェクト。街そのものの特性とこの街に集う人々がみせる文化的な生態系、そして区内外のアーティストや研究者など専門家のアクションが交わる状況を創造する場としてのラーニングプログラムの実施とそれらの検証から、豊かに暮らすための創造力や地域の文化資源の価値についてやわらかな観点で考えます。		

事業名	実施場所	共催団体
Artist Collective Fuchu [ACF]	府中市	特定非営利活動法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ
府中市とその周辺地域を中心に、芸術・美術活動のあらゆる表現を通じて「アーティストにとって住みよいまち」、ひいては市民の自由で活発な「だれもが表現できるまち」を目指すプロジェクトです。		
移動する中心   GAYA	世田谷区 ほか	特定非営利活動法人記録とメディアと表現のための組織[remo]、公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
昭和の世田谷をうつした8ミリフィルムのデジタルデータを活用し、映像を介した語りの場を創出するコミュニティ・アーカイブプロジェクト。映像の再生をきっかけに紡がれた個々の語りを拾い上げ、プロジェクトを共に動かす担い手づくりを目指します。		
[東京で(国)境をこえる]	世田谷区 ほか	一般社団法人 shelf
多くの在留外国人が生活する東京において、「見えない国境(壁)」は存在するのかわきという問いを出発点に、異文化間の距離や接点を探り、在留外国人と日本人の日常的な出会いの場を生み出す拠点(コミュニティ)の形成を目指すプロジェクトです。		

### ○東京の文化力による震災からの復興

東京都との共催で実施する芸術文化を活用した東日本大震災被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアートに関わるNPO等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。(通年実施)

事業名	実施場所	共催団体(予定)
東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業(Art Support Tohoku-Tokyo)	岩手県	特定非営利活動法人いわて連携復興センター
	宮城県	つながる湾プロジェクト運営委員会
	福島県	いわき市、一般社団法人 Teco、福島県
「東京緊急対策 2011」の一環として東京都との共催で開始した、被災地域のコミュニティに対して、現地の団体と協働してアートプログラムを実施する事業です。現地のアートNPO等の団体やコーディネーターと連携し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。被災地域のコミュニティを再建するため、様々な分野の人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを行います。		
事業名	実施場所	開催時期(予定)
Art Support Tohoku-Tokyo フォーラム	未定(都内及び宮城県)	未定
東日本大震災から10年を迎え、被災地の現状や震災以降の取り組みの成果発信、現地の担い手のネットワーク形成を目的としたフォーラムを実施します。		

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

事業名	実施場所	開催時期(予定)
タレント・トーキョー2020	有楽町朝日ホールスクエア(予定)	11月23日(月・祝)～28日(土)
映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能(=Talents、タレント)」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施します。		
アーツアカデミー	アーツカウンシル東京、 東京芸術劇場	通年
【アーツアカデミー芸術創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座】東京の芸術文化分野で、中核を担う人材の発掘と育成を目的とする事業。様々な芸術文化分野における活動経験者を対象に、座学と各々の課題解決研究によって創造活動と社会との関わり方について学びます。 【アーツアカデミー東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修】劇場や文化施設で活動することのできるプロデューサーやコーディネーターの育成を目的に、東京芸術劇場内でのOJTとレポート作成に取り組みます。また、公開型のレクチャーや講座も運営します。		
Tokyo Art Research Lab (TARL)	3331 Arts Chiyoda (ROOM302) ほか	通年
アートプロジェクトを実践する人々にひらかれ、共に作りあげる学びのプログラムです。人材の育成、現場の課題に応じたスキルの開発、資料の提供やアーカイブなどを通じ、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指しています。アートプロジェクトの担い手を育成していく「思考と技術と対話の学校」と、環境整備と方法論の確立を目指していく「研究・開発」の二軸で事業を展開します。		

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力向上のきっかけ作りを行います。

事業名	実施場所	開催時期(予定)
アーツカウンシル・フォーラム	都内	未定
芸術文化分野において、今日的かつ重要なテーマを取り上げるフォーラムを開催します。国内外のアーツカウンシル、芸術文化交流施設・機関、アーティストや研究者等のディスカッションを通じて、国際都市に相応しい芸術文化活動の発信や議論の場となることを目指します。		
企画戦略事業	アーツカウンシル東京(予定)	通年
東京の芸術文化環境を向上させるための様々なテーマに基づいた調査研究を実施するなど、シンクタンク機能を充実させます。また、芸術文化支援事業を中心とした芸術団体情報を海外にも発信していきます。		